

学校教育目標

かがやく ひとみ

新

～自律できるたくましさを育む～

百年桜

5月の連休が過ぎて



学びパワーアップ教室…「教えて」「教えてあげるよ」学年を超えた学びあい

新しい出会いから約一ヶ月が過ぎました。子どもたちは、緊張した面持ちから、少しづつ環境にも慣れて毎日元気な声が聞こえています。掃除の時間、一生懸命廊下を拭く姿に、「きちんと掃除ができる」と声をかけると、にこっと笑顔で応えてくれます。また、外で掃除をしていると「校長先生、ありがとうございます。」と笑顔で手を振る子どもの姿に、本校の目指す子ども像である「かがやき」を意識した日々の取組が、確実に積み重ねられていると実感しています。

1年生は、学校での過ごし方や学習の決まりなどを知り、各教科の学び方を少しづつ習得しています。先日は、「びわ湖子どもの国」へ校外学習に出かけました。時には、口喧嘩やトラブルもありますが、入学前に学んできた多くの体験や経験をもとに、良好な人間関係と人とのつながり方をより深く学んでいるところです。

「やさしい子：豊かな心の育成」の到達目標では、互いの違いを認めたり、友達のことを考えて行動したりすることを挙げています。相手の特徴を知り、気持ちに寄り添う心（共感力）を育み、励まし合う集団づくりを目指しています。教職員も、一人ひとりの子どもに向き合い寄り添いながら、思いを傾聴して優しさと厳しさをもって指導にあたり、多くの体験活動の中で、子どもたちが自己肯定感を高め自信をもって積極的に行動できるための手立てや方策を実行していきます。

一年 さつまいもの苗植え



二年 夏野菜の苗植え



三年 響庭麗子先生とともに



6年 調理実習

一八日(火)わくわく、ディキャンプ	二〇日(木)歯科健診 一・三・六年
二一日(金)同窓会理事会	二二日(月)クラブ活動
二四日(月)人事訪問	二五日(火)四年校外学習
二七日(木)歯科健診 二・四・五年	二八日(金)六年校外学習 民生児童委員懇談会

家庭学習がんばろう週間 ～二日(金)まで

一四日(金)家読の日
一〇日(月)眼科健診 午後
一一日(火)コロちゃんお話会
一三日(木)市教育研究会 教科外部会

全校下校 一四時一〇分

裏面は、滋賀県SSW鈴木先生からのメッセージを掲載しています。

保護者の方へ
随时スクリレのお便り
等をご確認ください。

「つながり」をテーマに

★子どもと地域

ふれあい食堂、新旭子ども食堂、地域ボランティア活動に参加しよう。

★子どもと家族

家読、家庭学習は、ふれあいながらじっくり取り組もう。・

新旭南小学校 保護者のみなさまへ

こんにちは 私は滋賀県スクール・ソーシャルワーカー（SSW）の
鈴木秀一（すずき しゅういち）と申します。
今年度も昨年度と同様、新旭南小学校が拠点校になりました。
主に、毎週「金曜日」が訪問日となっております。



教育相談のご案内

保護者さんを対象とした相談を承っております。子育てに関する悩み、また他に何かお困りのことがございましたら担任か教頭の青木までお申込みください。些細な心配事でもかまいません。
子どもの未来について学校と家庭が手をたすさえて一緒に考えていくよう支援いたします。

スクール・ソーシャルワーカーは児童・生徒が日々の生活の中で抱える問題の解決を図る専門職です。

主に国家資格である社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有する者が担当しています。

児童が抱える問題には日常生活における友人とのトラブル、いじめ、不登校、暴力的行為などがありますが、常に子どもに寄り添いながら事態を解決すべく学校を支援することはもとより状況によって他機関と連携しながら児童生徒だけにかぎらず関わる側の教職員や保護者さんを支えたりもします。

日本では2008年から始まり、現在ではほぼ全国の公立小学校にSSWが配置されており、複雑化の度合いが増してきている様々な課題に「チーム学校」として対応する仕組みを作りを行なっています。

子育てについて 改めて考えてみましょう。今回は「自信」についてです
もしかすると 良かれと思いながら大きな間違いを犯しているかもしれません

「自信」をつけさせようとして優越感を植え付けていませんか？

自信とは他者との比較評価によって得られるものではありません。他のみんなより上手にできた。他の子よりも先に覚えることができた・・これらの体験から得られるものは「自信」などではなく「優越感」です。優越感を自信だと勘違いしている子は、いかに小中学校で優秀な成績を残せたとしても、高校に進学して「自分よりも力がある子」と出会った瞬間に失望し動けなってしまうことになります。比較評価によって生まれるのは「自信」ではなく「優越感」でしかないのです。

「ほめる子育て」が子どものヤル気を奪う危険があることをご存知ですか？

意外に思われる方も多いと思いますが、「ほめる子育て」は、ひとつ間違えば子どものヤル気を奪うだけでなく、自尊感情や自己肯定感まで下げてしまう場合があるのであります。

なぜかと言いますと、ほとんどの場合、結果や成果が出たときに限って褒めてしまうからです。

たとえば100点を取った我が子に「お、100点か！よく頑張ったな」と言ったとします・・

この文脈、どこか妙だと思いませんか？100点を取って初めて「頑張ったこと」にしてもらえるのでしょうか？じつにおかしな話です。頑張ったから100点が取れたのではないでしょうか？

子どもは、努力したプロセスを認めてもらえないければ、頑張った甲斐がありませんし「どんなに頑張っても100点を取れないなら意味がない！」と認識してしまいます。そして「どうせ満点など取れっこない・・・」「上手くできそうもない・・」と思った途端に一気にヤル気が萎えてしまい、「やりたくない・・」になり、最終的に「むり！」という言葉と共に、初めてのことや苦手なことに挑戦しようとする意欲までなくしてしまいます。

せっかく頑張ったのに、その過程を見ていてもらえないばかりか結果まで良くなかったとなれば、ヤル気が失せるのはあたりまえです。きっと自信もつきませんし、頑張ることもやめてしまいます。

必要なのは「結果を褒めること」ではなく「主体的に努力した経過を認めること」なのです。

ひやくねんざくら

百年桜

人権委員さんによる「人権の花」の説明を聞き、取組スタート!



登下校から 夢の会サポート会議で、「朝の登校時に、高学年が低学年(特に1年生)に対して優しく言葉かけをしながら気遣って歩いている」というご意見をいただきました。まさに「他学年とのつながり」を意識した子どもたちの行動をとても嬉しく思います。

17日で学年別下校の試行を終え、今日から分団別下校に戻ります。学年別下校を試行した結果を踏まえて、学校として下校の方法を考えていきます。交通ルールを違反したり、トラブルがあったり、正しい判断で行動できなかった場合は、次の日の昼休みに分団を集めて指導しています。ご家庭におきましても再度、登下校を話題にしながら自分の命を守る行動の大切さをご指導ください。



朝の分団登校の様子

PTA活動から 先日、令和6年度PTA活動方針の書面決議が可決され、今年度の活動が始まりました。15日(水)の授業参観と地区別懇談会は、多数の保護者の皆様にご参加いただき、会長様はじめ実行委員の方々には、会費の徴収や地区別懇談会の運営等でお世話になりました。心よりお礼申し上げます。また、今年度保護者の皆様との連携(つながり)をより一層深めて行きたいと思います。



縦の糸と横の糸で紡ぐ
強く優しい南小学校に



学習参観

新旭南小学校 学校だより

令和6年(2024年)5月22日 文責 前田

学校教育目標

かがやく ひとみ

新

~自律できるたくましさを育む~

左から 児童集会・1年生をむかえる会・生活目標



児童会活動から

今年度のテーマは「絆」。17日の児童集会では、笑いあい絆を深めていきたいという運営委員会の熱い思いが伝わり、各委員会からの活動方針はとてもわかりやすく、応援団長と副団長の決意やそれに応える団員の声が体育館に響きました。高学年のやる気と南小学校の顔である6年生の自覚ある行動はとても感動しました。

1年生むかえる会では、各色班別で教室に入り、2種類のゲームをみんなで楽しみました。

児童会からの今月の生活目標は、「ふわふわ言葉を使う」と「靴をそろえる」です。南小全員が、目標を達成できるよう努力すればきっと温かい心でつながり、強い絆を結ぶことができます。

我が校の学ぶ力向上策から

今年度、本校で重点的に取り組む内容のなかで、以下の点で、ご家庭にご協力いただきたいと思います。

◆協働して取り組む学校づくりとして

*家読での触れ合いを大切にしながら、読書週間が身につくように声をかける。

*家庭学習がんばろう週間などをを利用して、学習習慣がつくように声をかける。

学校においても、ボランティアの皆様のご協力を得ながらティンクルさんのお話会、コロちゃんのお話会、ブックトーク、朝の読み聞かせ、読書貯金などの諸活動をより充実していきます。



地区別懇談会